

みずほCustomer Desk Report 2025/02/10号(As of 2025/02/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	151.30 AUD/USD
TKY 9:00AM	151.19	1.0386	157.08	1.2435	0.6283
SYD-NY High	152.42	1.0414	158.00	1.2490	0.6302
SYD-NY Low	150.93	1.0305	155.89	1.2377	0.6254
NY 5:00 PM	151.40	1.0327	156.34	1.2398	0.6277
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,303.40	▲ 444.23	日本2年債	0.8000%	0.0400%
NASDAQ	19,523.40	▲ 268.59	日本10年債	1.3000%	0.0400%
S&P	6,025.99	▲ 57.58	米国2年債	4.2892%	0.0774%
日経平均	38,787.02	▲ 279.51	米国5年債	4.3459%	0.0715%
TOPIX	2,737.23	▲ 14.97	米国10年債	4.4937%	0.0585%
シカゴ日経先物	38,415.00	▲ 595.00	独10年債	2.3770%	0.0045%
ロンドンFT	8,700.53	▲ 26.75	英10年債	4.4760%	▲0.0060%
DAX	21,787.00	▲ 115.42	豪10年債	4.3470%	0.0340%
ハンセン指数	21,133.54	241.92	USDJPY 1M Vol	10.65%	0.12%
上海総合	3,303.67	33.01	USDJPY 3M Vol	10.67%	0.23%
NY金	2,887.60	10.90	USDJPY 6M Vol	10.46%	0.20%
WTI	71.00	0.39	USDJPY 1M 25RR	▲1.61%	Yen Call Over
CRB指数	307.51	0.05	EURJPY 3M Vol	10.90%	0.31%
ドルインデックス	108.04	0.35	EURJPY 6M Vol	10.79%	0.30%

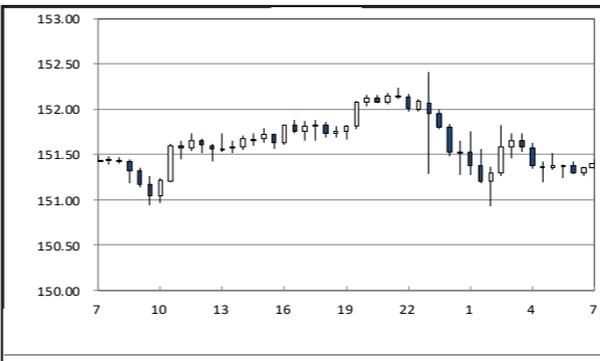
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -2.4%	-0.7%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 143k	175k
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.5%/4.1%	0.3%/3.8%
	22:30	米 失業率	1月 4.0%	4.1%
2月8日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 67.8	71.8
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 -0.5%	-0.5%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	12月 1.0%	0.5%
	10:30	中 PPI(前年比)	1月 -2.3%	-2.2%
	10:30	中 CPI(前年比)	1月 0.5%	0.4%

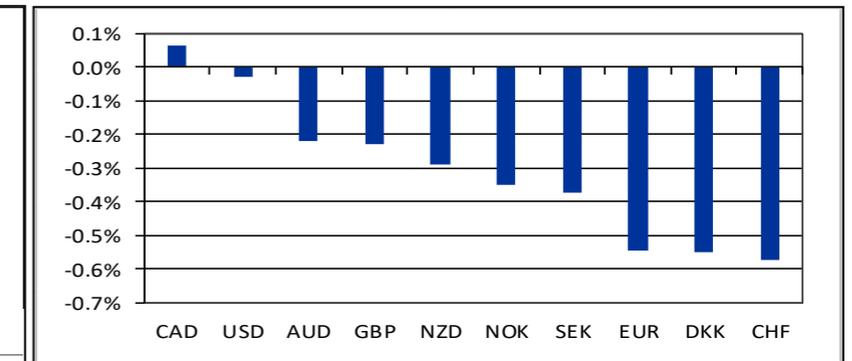
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月11日	01:00	米 NY連銀1年インフレ期待	1月 -	3.00%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.50-152.50	1.0250-1.0400	154.50-158.50

【マーケット・インプレッション】

先週5日に発表された本邦賃金統計において実質賃金が2ヶ月連続のプラスとなったことや、赤沢経済財政・再生相より足許のインフレについて「植田総裁との認識に齟齬はない」旨の認識が示されたこと、さらに6日には田村日銀審議委員より「25年後半には1%程度まで政策金利引き上げが必要」との認識が示されたことから、日銀による利上げ時期前倒し観測が広がった。一方、米国では先週発表された経済指標の結果が予想を下回るものが多かったことや、トランプ米大統領による相互関税導入を巡る報道からリスクオフムードとなり、7日海外時間にドル円は年初来最安値である150.93円をつけた。

日米金利差縮小観測の高まりからも円買いドル売り圧力が強まりやすい状況下、今週は11、12日にパウエルFRB議長による発言機会や同12日の米1月消費者物価指数(CPI)、14日の米1月小売売上高の公表に注目が集まる。また、本日より中国による対米報復関税の発動が予定されており、関税を巡る突発的な値動きに警戒は必要であるものの、今後の方向性を見極める重要イベントを明日以降に控え、本日のドル円は引き続き上値の重い展開を見込む。

東京	東京時間のドル円は151.19レベルでオープン。仲値前に151円を割り込み150.96をつける。その後は、押し目買いが入る展開に151円台半ばまで上昇。米雇用関連指標や日米首脳会談を控える中で、明確な方向感はず、151.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.60レベルでオープン。米1月雇用統計を控える中、クロス円の上昇を伴ってドル高で推移し、結局152.01レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。注目の米1月雇用統計の結果発表を控える中、米金利の上昇を横目にじり高で推移し、152.01レベルでオープン。朝方に発表された米1月非農業部門雇用者数変化は予想を下回った一方、失業率は予想を下回り、平均時給(前月比)も予想以上の伸びを見せる等強弱まちまちの結果となり、発表後は大きく乱高下。しかし、その後に発表された米1月シカゴ大学消費者マインド指数が予想を下回った事や、一部で報道された「トランプ米大統領が来週にも相互関税の導入を計画している」との報道を受け、リスクオフムードが広がり、150.93まで値を下げる。午後は下げ渋り、151.40付近まで戻し、151.40でレベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.03台後半でスタート。注目の米1月雇用統計の結果発表を控える中、じり安で推移し、1.0375レベルでNYオープン。午前中は強弱混合な米1月雇用統計の結果を受け、乱高下。しかし、その後一部で「トランプ米大統領が相互関税の導入計画を来週発表する」との報道が伝わると、ドル買いが優勢となり、1.0305まで値を下げる。午後は一巡となり、1.0330付近まで小幅反発し、1.0327レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。